

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 22日は、高気圧が日本付近を東へ移動し、前線が華中から東シナ海にのびる。
- 23日から24日は、低気圧がサハリンから千島近海付近に進む。前線を伴った低気圧が発達しながら日本付近を東進する。
- 25日は、高気圧が日本海から北日本に移動し、前線が日本の東から日本の南にのびる。
- 26日は、高気圧が日本の東に移動する。

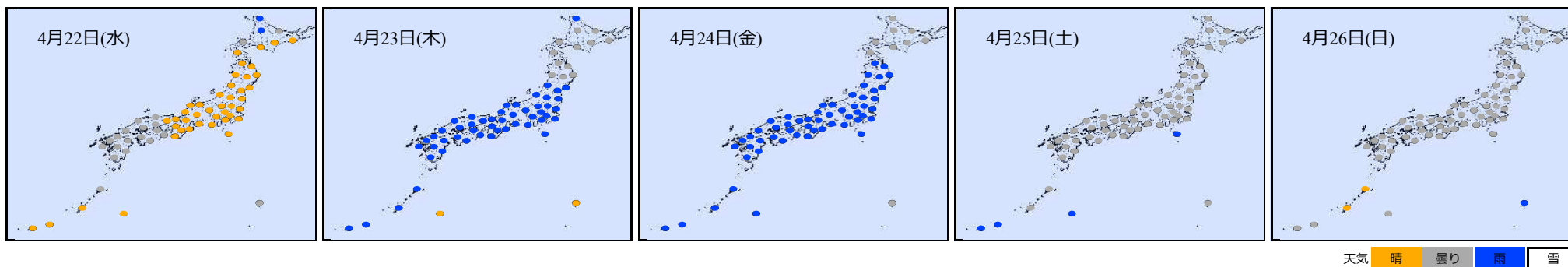
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 23日から24日は、前線を伴った低気圧が発達しながら日本付近を東進し、暖かく湿った空気が日本付近に流れ込む。西日本や東日本を中心に荒れた天気となり、西日本では暖かく湿った空気の流れ込みの程度によっては、警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

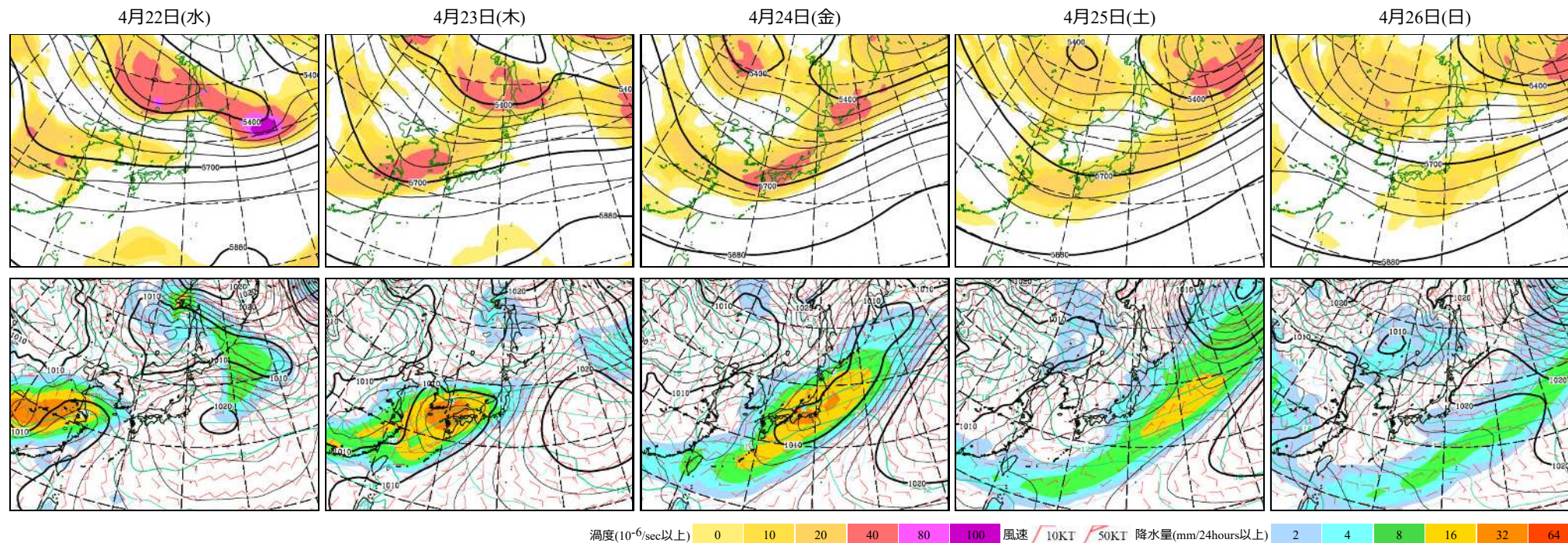
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

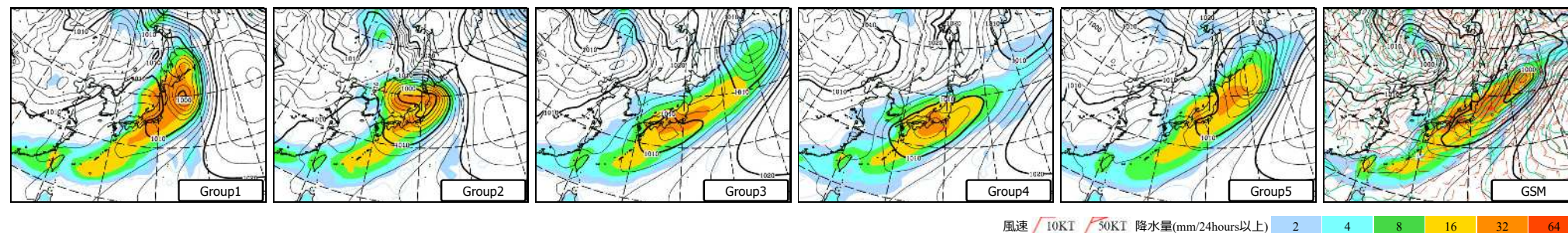


- 北日本と東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、22日は晴れる所が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、22日と26日は晴れまたは曇りとなる。23日から25日は曇りや雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月24日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、23日から24日にかけて、東シナ海から日本付近へ進むトラフが深くなり、地上の低気圧の予想も明瞭となった。25日から26日に日本海から日本付近に進むリッジが強まり、日本付近を移動する高気圧もやや強まった。
- 23日から24日に東シナ海から日本付近へ進むトラフは、モデル間の差が小さくなり、低気圧が本州付近を通過する予想で揃ってきたが、低気圧のコースや発達程度、東進のスピード等はモデル間でまだ相違が見られる。ENSメンバーの中には、低気圧が本州南岸付近を進む予想や日本海を発達しながら進む予想をするメンバーが存在する他、NCEPのように東進のスピードが遅いメンバーも含んでおり、メンバー間の予想のバラつきも依然大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。